

社会医療ニュース

「令和」は「令和」で限界があり 着々と進む西暦の医療と介護

所長 岡田玲一郎

新元号が「令和」になった。本紙一月号8頁で書いたとおりラ行しかないと思っていた。ただ、わたしの名前の「玲」から王偏が取れてしまった。NHKラジオのアナウンサーは当初「年齢の齢に平和、昭和の和」とアナウンスしていたが、年齢も年令と書く育ち方をしているのだらう。医療、介護も年代によって変化してくる。

その辺の話は、5月の「三人会」でお話したことだ。どういふことかというと、来年の診療報酬の変化は新元号の決定にみるように、成るように成るのであつて、我欲が通用するものではないのである。新元号だつて「安晋」にはならないし、ア行の「安」はイカニモになるからである。お分かり頂きたいことと、わたしは思っている。

医療も介護も
買い手市場になる

老人は、どんどん増える。しか

し、そのことは同時に急速に減少する時代が来るということだ。戦後を支え、栄えさせてきた人たち（わたしもチョッピリ）が、死んでいくからだ。そして、少子化は歯止めが効きそうもない。外国人労働者の一部に妊娠行為の禁止が法律にあるそうで（ナンダ コレ）、子どもは増えそうもない。でも、外国人を迎え入れないと経済が停滞する。AI活用も一定の限度があるだらうし、AIは人間を出産しない。

しかも、周知のように、わが国は病院も多いし、病床もベラボーに多い。患者（要介護を含む）も、徐々にではあるが、医療機関、介護施設を選ぶようになる。つまり、買い手市場化するのである。その結果、スーパーマーケットのように優者必勝、劣者必敗になってくる。

優者になる病院、施設は、提供する「ケアの質」つまり成果が優秀で、それを世間が認めてくれる証明を提供しなければならぬ。そ

社会医療研究所

〒114-0001

東京都北区東十条3-3-1-220号室

電話 (03) 3914-5565 代

FAX (03) 3914-5576

定価年間 6,000円

月刊 15日発行

振込銀行 リソナ銀行

王子支店 1326433

振替口座 00160-6-100092

発行人 岡田 玲一郎

れが、現在、先行しているかが問われてくる。例えば、「退院患者アンケート」を回収していたり、病院、施設のアウトカムを公表していた病院、施設が優者になるだらう。

さらに、医療費、介護費は上昇の一途だろうから、その負担者である国民と国家は、成果を重視することは必至であろう。米国での過程をそのまま追っているのである。図表を掲載する紙面はないが、対GDPの医療費は上昇するのであつて、下降することはない。

令和の年号が何年続くのかは分からないが、やがて21世紀は半ばを迎える。その2050年（もう30年弱ですよ）に医療、介護がどうなっているか、真剣に考えなければ、医療機関も介護施設も存続は不可能なのである。老人医療費の一部負担金の問題も浮上する。

さて、どうするか。だ。医療は病院にしろ診療所にしろ、機能を明確化することが第一歩だ。最近、事務所の近くに「往診専門診療所」がオープンした。在宅ケアのできない診療所は産科でも存続できないのは、米国の産科をみても、よく理解できる。出産手当金の限

度いっぱいまで入院させていたり、いくら「祝膳」を豪華にしても、自費負担のお金持ち以外は、無理だらう。そこに徹して、お金持ちが集まってくれればよいが、出産そのものが減少したとき、どうするかだ。いまでも、一部の国民は出産手当金を限度まで消費しないで、早期に退院している。その国民感覚を無視してはならないのである。

一方、介護、あるいは介護同然の医療は、「収容型」では限度がある。さらに、世界一の「寝たきり老人」を製造するのは、病院、施設であることにも着目する必要がある。言ってみれば、寝たきり老人を製造しない医療、介護というアウトカムがないと、野たれ死にすると書くが、おそらく怨嗟の陰口が出てくることは、覚悟している。病院はリハビリを主体とした寝たきりにさせない機能と成果がお金になるのであつて、逆は衰退の道をトボトボと歩むであらう。

また、在宅ケアの重視が叫ばれているが、わたしはわが国での在宅は限度があると思っている。うさぎ小屋の家屋、また高層住宅では米国のような「ホーム・ヘルス・ケア」を実現するのは、いささかではあるが無理があると思っている。

そして、収容型は成果を挙げない限度があり、在宅型もいわゆる「通所」がベターではなからうか。わが家の周囲、事務所のある高層マンションでも、通所ケアの利用が多い。

これも、寝たきり防止に絶対的に必要なことで、ほんとうの急性期以外の入院ケア、施設ケアは、通所が有利だと思う。ところが実際は、どうだ。企業系の通所ケア業者が、現在では病院、施設の通所ケアを圧倒している。もちろん、通所系の企業（業者）でも劣悪な所はあるが、わたしは彼らの真剣さは、病院、施設に勝っているようにみえる。特に、大手チェーン系の企業は、ノウハウを蓄積しているのである。

病院、施設は、それを凌駕するケアの質と成果を出していって、地域では知名度に勝る利点を生かしていくべきだと思う。だと思ふのだが、大手チェーン企業はその不利をバネにして成長している。

やはり、平成の半ばまでは安穩としていても、病院、施設は経営で生きていたことを、素直に認めるところから出発すべきであらう。いろんな理屈を述べるよりは、現実である時代の流れを厳しい眼で見つめられたらよい。

それは、眼科や耳鼻科といった専門病院でもいえることで、さらなる専門性を磨き、その成果を広報し、専門病院間競争に勝利しなければならぬ。歯科などは、既に勝負は決しているような感じだ。

令和、令和と大騒ぎをしている社会だが、それはそれでいいとして、西暦の2050年目指して競争していくしかない。米国で30年前に言われていたことだ。

仕事の質について考える

新須磨病院
院長 澤田勝寛

春の新番組「私定時で帰ります」というドラマを観ている。ウエブ制作会社に勤める女性社員 結衣（吉高由里子）は一切残業をせずに定時で帰るのをポリシーにして貫いている。定時に帰るといっても、

仕事は完璧にこなし、同僚や部下からもその仕事ぶりを認められている。ただ上司からはみんなが仕事をしているのに早く帰るのは問題だと指摘されている。働き方改革が行われつつある今を反映したトレンドな内容のドラマである。

◆職務要件

アメリカでは、ジョブディスクリプションといって、職務要件が明確である。人種のあるつぼであり、教育レベルも言語も何もかもが「こった煮」の中で、阿吽（あうん）の呼吸を求めるのは無理である。そのため、それぞれの職務を明確にして、それに対してサラリーを払うという仕組みができたのであろう。成果報酬もアメリカの風土にマッチしたものである。

ジョブディスクリプションを突き詰めると、仕事は自分の仕事、人の仕事、誰の仕事でもない仕事の3種類に分類される。

問題は誰の仕事でもない仕事である。いくら詳細に役割分担をしても、漏れは必ずある。突発的な案件は間違いなく起こる。

私が関与する松江の医療専門学校は2年前に大雪に見舞われた。学生や職員が使う駐車場は雪に埋もれ、車が入ることができず公道に車が溢れた。雪かきや除雪

作業の手配が必要である。こんな事態は想定外のことであった。数人の職員が機転を利かし、雪かきや除雪作業依頼に奔走したが、我関せずと全く何もしない職員もいたという。

廊下にゴミが落ちたままの会社がある。トイレトペーパーがなくなれば空のまま放置されているトイレがある。横向いたままの椅子、半開きのドア、外れかけたカーテン、点滅している蛍光灯など、数え上げればきりが無い。

誰が何をどうするか、が決まっていない案件である。そのままでも業務には差し支えない。ただそれらが放置されている組織は間違いなく衰退する。

大リーグのエンゼルスで活躍する大谷翔平選手は、床に落ちているゴミを拾うという。そのことを記者の問われたときに「僕はゴミを拾っているのではありません。運を拾っているのです」と答えた。見事である。20歳そこそこで頂点を極めるだけのことはあると、感心した。

誰の仕事でもない仕事を誰もしない組織は滅ぶといわれている。職務要件の明示は、ある程度ファジーにしかできない。その中で、自分の仕事はもちろん、人の仕事を手伝い、誰の仕事でもない仕事を引き受けるという相互補完ができる組織が、健全な組織だといえる。

◆表の仕事 裏の仕事

仕事には表の仕事と裏の仕事がある。表の仕事とは、顧客に接する仕事であり、この良し悪しが品質を左右する。裏の仕事は直接的には顧客と接しない仕事である。

表の仕事では効率を多少犠牲にしても、品質を高めるためにしっかりと対応しなければいけない。裏の仕事は、徹底的に単純化して効率的にすすめることが必要である。

先に紹介した医療専門学校で教員と話をする機会があった。

チューター制をとっているが、なかなか学生とゆくり話をすることが取れず困っているとのことであった。どうしてそんなに時間がないのかと聞くと、非常勤講師の資料作り、毎年の実習要項作成など、色々な書類作りに手を取られるとのこと。また、学生の実習レポートの形式がバラバラで8種類にも及び、その仕分けだけでも手間がかかる。そのため、学生対応の時間が取れなくなっているということがわかった。

典型的な本末転倒である。教員にとつて、一番大切な表の仕事は学生を教えることである。次の学生の相談相手になることである。特に5月病が蔓延するこの時期、学生への気配り目配り声配りは、極めて大切である。

各学科の事務的な作業は、できるだけ学校事務に振り分けるこ

と、煩雑なフォーマットは単純化すること、手作業で資料を閉じるのをやめて、高性能のコピー機を利用してホットキスで閉じるところまで機械任せにすること、などを提案した。

病院の表の仕事は、患者対応である。医師であるなら、外来患者、入院患者への診察が表の仕事である。

話をしっかりと聴くという問診、触診・聴診・打診といった理学所見、病状と治療方針を説明するというインフォームドコンセント、という表の仕事では効率性は損なわれても仕方ない。むしろ多少時間がかかって非効率になろうが、患者とじっくりと向き合う姿勢が大切である。

血液検査や画像診断、部署間の連絡などは、直接患者と接することのない裏の仕事であり、この効率性を高めることは必要である。

診断書の記載も裏の仕事。会議もほとんどが裏の仕事。最近では、医療事務補助者に対して加算がつくようになり、医師や看護師の裏の仕事を引き受ける職種が増えた。診断書類は、それら担当者が記載したのを医師が確認するだけで事足り、大幅な時間の節約になる。

医療においては患者、教育においては学生との接点である表の仕事では、非効率の中にこそ意義がある。このことを、それぞれの関係者が意識することが医療と教育の質を高めることにつながっている。

10月から新たに創設される介護職員等特定処遇改善加算(以下、特定加算、と言う)に関する事務連絡及びQ&Aが発出された。制度の概要は前回も触れたところであるが、本号では実務上の課題等について述べておきたい。

現行加算と特定加算の関連性

現行の処遇改善加算は、平成21年度から始まった介護職員処遇改善交付金(障害福祉系では助成金)をルーツとするものであり、交付金による賃金改善効果を継続する観点から平成24年度に創設されたものである。当初は臨時的・暫定的の制度として位置づけられていたが、平成27年度及び29年度に拡充され、交付金と合わせて月額3万7千円相当になる処遇改善加算が行われてきた。

厚労省が毎年実施している「介護従事者処遇状況等調査」によると、平成30年10月時点で現行の加算を取得している事業所は91.1%(加算Ⅰの取得率は69.3%)となっている。

この調査では、加算(Ⅰ)から(Ⅴ)を取得している事業所の介護職員等各職種の給与水準についても定点観測結果を報告している。平成30年度は、平成29年度との比較で、常勤の介護職の月給が29万1200円から30万970円となっており、

1万円強の改善が行われている。初めて30万円の台を越える水準となったということだ。

30万円という数字は、諸手当及び賞与支給分を按分した額ではあるが、年額に換算すると360万となり、特定加算において「経験・技能のある職員」に対する処遇改善目標として設定している440万円(全産業の年額平均給与額)に近づいている。

最近の風潮から調査データの信憑性に懐疑的にならざるを得ない面もあるが、介護職員のリアリティ

様式統合の予定が示されている。問題は、どのような形で統合するのか、その行方を着目しておかなければならない。

特定加算の取得要件と加算率

特定加算の取得要件は、①現行加算の(Ⅰ)から(Ⅲ)を取得していること(つまり、キャリアパス要件の(Ⅰ)から(Ⅲ)が整備されていること)、②現行加算の取得要件でもある職場環境等要件に関し、複数の取組を行っていること、③特別加算に基づく取組について、ホームページ

月末日となった。

特定加算による処遇改善

現行加算と大きく異なるのは、賃金改善の対象となるグループを「a.経験・技能のある介護職」「b.他の介護職員」「c.その他の職員」に区分し、賃金改善計画を策定しなければならないことである。

特定加算は、経験・技能のある介護職員に重点化を図るというものであるから当然「aグループ」に重点配分することになる。その比率は「2対1対0.5」である。

連載「大介護時代の人材マネジメント」③⑦ 「特定(処遇改善)加算」の通知・Q&A

(株)ナレッジ・マネジメント・ケア研究所 統括フェロー

宮崎 民雄

に近づいて欲しいものである。特定加算は、現行加算の取得を前提とするものであるが、運用は別建てで行われることになる。

加算額の算定や算定額に基づく賃金改善の配分、計画書や実績報告書の届出等は、各加算それぞれに行わなければならない。

二種類の加算が別々に運用することになるとそれだけ事務の煩雑さが増すことになる。発出された通知では、加算取得にかかる業務簡素化の観点から、現行加算と特定加算の計画書等の届出について、

への掲載等を通じた「見える化」を行っていること、になる。

「見える化」については、介護サービスの情報公表制度やホームページを活用する等、外部から見える形で公表することが求められる。これについては、令和2年度からの算定要件となる。

特定加算の算定は、介護福祉士の配置等(サービステ体制加算の取得等)との関係で加算(Ⅰ)と(Ⅱ)に区分され、サービステ別にそれぞれの加算率が示されている。都道府県等への届出の期限は、8

通知では、計画書及び実績報告書の様式のなかで、この点が明確になるよう新たな様式が示されている。

「経験・技能のある介護職員に月額8万円の賃金改善」というふれ込みで創設された特定加算である。その趣旨に則してaグループについては、1人以上の職員の賃金改善に要する費用の見込額が月額平均8万円(賃金改善実施期間平均)以上又は賃金改善後の賃金の見込額が年額440万円以上になることが求められている。

現に賃金が年額440万円以上

の者がいる場合とか、小規模事業所等で加算額全体が少額である場合、また職員全体の賃金水準が低い事業所などの場合には例外を認めている。

「aグループ」の範囲については、他の法人における経験や、当該職員の業務や技能等を踏まえ、各事業所の裁量で設定してよいということになった。

現行加算では、加算額による賃金改善の対象外とされてきたcグループについても、加算額による賃金改善が可能になった。cグループ職員についての賃金改善は、改善後の賃金の見込額が年額440万円を上回らないことという条件付きである。つまり、年額440万円を上回る場合は、特定加算による賃金改善の対象とならないということである。処遇改善の制度の趣旨からいえば当然のことであると言つてよいだろう。

各法人・事業所においては、特定加算をどのように活用して行くか知恵が問われることになる。

aグループの範囲を実際にどう設定するか、また、傾斜配分ルールの中で実際の配分をどのように行うのか、さらには、各グループ内の個別の配分をどうするか等、職員との話し合いの場を設け、職員が納得する形で決めて行きたいものである。

「四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦」
**ヒラメ化する職員が出るのは
 トップ、上司に原因がある**

四苦八苦

「四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦」
 人間は、しばしば魚類にもなる。

特に、組織、集団になると「ヒラメ化」する。付度問題で自民党という組織の票を落としたオッサン議員が出てくるのは、当然だ。しかし、あのヒラメのオッサン、上を誰とみているのだろうか？ そして「事実」という日本語が分かつてない。「付度した」と自ら言ったことは、事実そのものだ。「両巨頭は言つてない」と言うのは事実にしても、実際は予算化されているし、アベさんもアソウさんも望んでいるのが事実だろう。

病院、施設は人間集団である組織である。けして、AI集団ではない。だからこそヒラメ職員は発生するのである。わたしも、病院で働いているとき、ヒラメ化してないと、仕事にならなかったことを経験している。院長や奥さんのコトが気になるんよ。そして、そのコトを付度していた。

でも、完全にヒラメ化しなかったのは、ヒラメのように「上ばかりをみてなかった」からだ。特に、上より横も下もみることができ身を翻すカレイの如く転身することが大事だと経験してきた。華麗なる転身、なんちゃって。

病院、施設には、必ずヒラメ職

員はおられる。それこそ「だつて、人間だもの」だと思ふからだ。しかし、上司、先輩は、そのヒラメに慣れ切つたら、下はヒラメの大群になつて、病院、施設を無力化してしまう。日本の企業をみると、その組織のトップ層がヒラメからカレイに渾身の力で変容したから、日産の事件が明るみに出たのだと思う。ここでは、人種は関係ない。つまり、ヒラメ化している職員を、上がバカにしたり評論していたら、組織の改革、変容は永遠に実現しないのだ。しかし、これも人間の業なのか部下を組織の一員として評価するより、評論（わたしは大嫌い）しているのが、とりあえずの楽なのだろう。このフリーズは、わたしは昔から使っており、とりあえずの楽は、上司としても、部下にしても、自由からの逃亡でしかないのである。

そうではなくて、ヒラメ化している部下に、少しでも希望を持たせるアクションこそが、組織を生き活きとさせるのである。例えば、自慢になるが、わたしが退職したから大部分の管理職、リーダーはわたしを追うように退職してしまつた。その中で、わたしの後任になつた事務長は、ただひとりの大ヒラメだつた。が、彼も間もなく退職した。耐えられないのだ。

結局は、トップがヒラメ群の上に君臨していることに気づかないと、組織は衰退してしまう事例だ。しかし、その気づきがないのも人間だし、気づくのも人間である。いろんな病院さん、施設さんを見ていても、やはりトップ及びトップ層の人間への理解が、経営にとつて最重要だと信じる。理解とは、人間はとかくヒラメ化するという認識だ。あまり難解な話ではなく、いい病院にはいいトップがおられるのではないか。会社にも通じることだが、人間の有している「業」をどのように認識し行動に移しておられるかで、経営は左右される。いや、上下するようだ。

そこでは、安易な「自由」は禁物だ。自由と勝手とのちがいは、わたしの持論である。自由とは、他者、例えばヒラメ職員も自由に仕事ができるようになる自他関係であるのに対し、勝手とは自分だけ自由と思つている人間なのだと、経験的に思う。そう書くと、読者の方でも勝手な人が頭に浮かぶでしょう。

このことは、教育、家庭も大きく影響すると思うが、基本的には職場の問題である。利益が出る出ないも、そこを抜かしては語れないと思う。自由な職場は生産性が高いのに対し、勝手な職場は生産性の話以前の問題である。 岡田

病院・施設の価値を高める 地域の方へ啓蒙講演しませんか!!

社会の変化で「生きること、死ぬこと」、特に「終末期をどのように生きる」かへの関心が強まっております。その啓蒙活動は天命と心得て、ご要望のある病院、施設で無料で講演させて頂いております。大好評です。

ご要望があれば、当研究所にご連絡下さい。



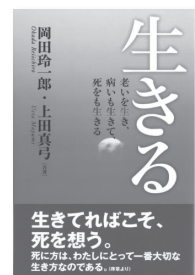
今年分の開催決定済の会場・主催者です。

4月20日(土) 平病院(岡山県和気郡)

5月18日(土) 社会医療研究所(兵庫県神戸市)

「事前指定書」(わたしの、のぞみ)は、常に新しいものにしています。

ご希望があれば、お申し越してください。



社会医療研究所
所長 岡田玲一郎



◎元号ブームと西暦

平成半ば以後に生まれた方は、「平成最後の……」のブームは、東邦高校のセンバツ優勝でフィナーレを迎えた感じだろう。しかし、平成元年と最終年に高校野球とはいえず優勝するとは、エライと思う。

そしてプロ野球では「令和最初のホームランは誰か」が話題になっている。その前に「平成最後のホームランは誰か」があると思うのだが、文化というものはそういうものだ。平成最後のオペ、平成最後の看とりもあると思うし、令和最初の出産も話題に上っている。日本人の文化で、アメリカの人は「世紀」の最初、最後を話題にする。外務省も、外交文書は西暦にするというのは妥当だと思うが、イチャモンを言う人もいる。

共同通信(夕刊フジ)によると、「普段の生活や仕事で主に使いたいのは新元号か、西暦か」のアンケートに、日本人は「両方」が45.1%、「西暦」が34.0%であるのに対し、「新元号」は18.8%である。これは、新元号は情緒であるのに対し、西暦は合理だとわたしはみている。本紙は、昭和の時代から元号は使

わず西暦にしているのは、わたしに情緒が欠けているからだ、と思う。でも、合理は重要だ。

わたしの名前は「玲瓏、玉の如し」から、オヤジが付けた名前だが、実際に玉の如く輝いてはいないし、清らかでもない。だけど、合理(論理と道理が合うこと)で生きてきた。国民も、先の調査のように、情緒と合理を併用する時代なのではなからうか。それに応じた、ケアの提供が必要だ。

◎特殊詐欺も、日本の文化？

アメリカの人に特殊詐欺の話をする、アンビリーバブルだ。孫が可愛いのは同じだけれど、日本のオバアチャンたちは、合理には欠けて、情緒が先走るのだろう。その点ジイチャンは男だから、合理で騙されな

いに加え、バアチャンみたいなお金は持つてない。
サイバー攻撃みたいな電話は合理でくるが、わたしはサイバーメールを親しい友人には、よく送る。ちゃんと「サイバーメール」と記した上で、だ。しかし、国際的なサイバー攻撃とちがつて、ガラケーのSMSだから、情緒どころかスケベ性満載のメールだ。日本人のわたしでも、合理の道理には欠けてくることがある。タイ国から送られてくる特殊詐欺と同じだ。

◎NHKさん、緩んでない？

「世界で一番美しい花」という歌

があるんかいな？ センバツの優勝戦で東邦高校が快勝した後にNHKの実況放送のアナウンサーが発した言葉だ。後に、正しい歌曲名で訂正をしていたが、最近、テレビでも画面の熟語の誤記を訂正する画面が多くなった。これは、どうやら誤変換のようだが、それに気づかないのは、天下のNHKとしては頼りないことだ。

医療ミスへの考えが日米で違うことは、本紙でも書いた。医療でも介護でもミスは発生する。そのミスを医療の進歩に活用している米国の対応の話だ。それをNHKに求めているのは、キチンと受信料を払っているからだ。医療も、診療報酬を受け取るのだから、ミスは無くしたいと思う。そこに医療でも介護でも、質の向上が実現できるからだ。緩んではならないのは、責任なのである。
NHKさんも、責任の遂行責任で仕事をしてもらいたい。

◎わたし、名古屋人化してる

名古屋人を訪問したいと思っている人は、他の都市、例えば札幌、東京、横浜、さらには京都、大阪など都道府県庁のあるところと、段ちがいに少ない。つまり、あまりどころか、とても行きたくない都市である、有名な調査である。

河村市長さんも、素直に認めて、名古屋人は「孤高の人が多いから」とコメントされている。とにかく、対

話が素直(河村市長は別)でないのだ。「今日は寒いですね」と言うと、「昨日は暖かった」と返してこられる。要するに、自分が中心の孤高なのである。ただし、愛知県全体ではなく、尾張名古屋であつて、三河はちがう。それは、愛知県に行くことが多いわたしも感じるし、尾張名古屋の人も、尾張と三河はちがうと言われる。これも、ひとつの文化であろう。

わたしも、どちらかというよりも、かなり名古屋人化、孤高のきらいがある。どうしてそうなったかというより、資質だろう。人の意見を聞くと、それ以外の考えもあるのではないかと、頭脳が働く。言葉に出すか出さないかは、名古屋人と同じではないが、基本的に名古屋人、よくいえば批判精神が旺盛であり、悪くいえばへそまがりである。ただし、そのへそは、常に王道を向いている。

◎ピエールさん、心配してねえよ

ピエール瀧さんの「電気グルーヴ」の「Shangri-La」は、わたしの大好きな曲だ。それと、ピエールさんが保釈のときにコメントされた「多くの方に迷惑とご心配をお掛けして……」は、別の話だ。

「多くの方」に、わたしは入っていない。心配なんてしてないし、迷惑だとも思っていない。ただ、バカなことをするもんだと、冷ややかに思っているだけだ。

カルロス・ゴーンさんが同じ言葉を言っても、ぜんぜんぜん、思つてませんよ、と言うだろう。しかし、大組織のトップになると、一般市民の考えられないことを考えるし、それを付度する人が出てくる。いわゆる、ヒラメ重役、社員である。銀行に割合多いと、専門家が書いておられたが、病院や施設にヒラメ社員がいたら、患者、利用者が大変なことになつてしまう。

こんなことを書くと、「私はもの分りがいいから、すぐ付度したんだ」と豪語する馬鹿国会議員の話が出てくる。日本人は、みんなヒラメかと思われてしまうのは、残念だ。下を見ることはなければ、横さえも見ないから、チームの連携が実現しないのだ。

もともと、人間はどうしてもヒラメ化する。わたしもその傾向があるのだが、読者の方は確信をもって、自分はヒラメ化しないといえるだろう。そして、上が複数になると、目をキョロキョロしないとき生きていけない。理事長と院長が別で、それぞれ個性が強烈だったら、キョロキョロだ。それについては4頁で書いた。

岡田

これからの一ヶ月の不安・不運・不信

医療の沸騰点



自己紹介パートII

趣味編

済生会熊本病院・熊本県済生会支部長 副島 秀久

いつも堅いことばかり言っている
と動脈硬化になりやすいらしい。
という事で年度も元号も変わるこ
とだし、少し碎けた自己紹介をし
たい。

今、住んでいる熊本県合志市は
熊本市と阿蘇との中間にあり、熊
本市から移り住んだのが平成4年
(1992年)なので、この地で27年
目を迎えた。聞くところによると、
「住みやすい街ランキング」で九州2
位とのことだが、住んでいる本人
達にはさほど自覚も実感もない。
どこが良いんだかと思っているが住
環境や子育て環境がよいとのこと
で高評価を得ているようだ。緑が
多いのは田舎だからだし、子育て環
境がよいのは大企業の工場とその
税収があるからだろう。自分が移
り住んだ理由は熊本市内があまり
にも暑く、温暖化の進行に伴ってま
すます耐え難いものになってきたか
らだ。もちろん子供が大きくなって
手狭になったのも一つの理由だ。

移り住む前年に猛烈な台風19
号のため、敷地に大きな木が倒れ
こんでおり、また周囲は森があり、
薪の調達には不自由はなさそうだ
った。そこでエコ活動の一環として
薪ストーブを始めた。平成7年

(1995年)には屋根に太陽光
発電をつけ、可能な限りのエネル
ギーの自給をめざした。阿蘇に近
いので熊本市内に比べやや涼しい。
その分、冬は厳しく最も寒い時で
-10℃まで下がった。薪ストーブ
は部屋全体が暖かく、香りも良
くて気に入っている。栗の木を燃や
すと栗饅頭の匂いがし、桜を燃や
すと桜餅の匂いがする。もちろん
ヒノキの香りは抜群だが燃料とし
ては長持ちしない。薪はクスギ、
コナラ、カシ、クワなどの堅木が長
く燃え、寝る前に大きな薪を入れ
て、空気孔のダンパーを絞っておく
と朝までもつ。

アウトドアの本を読んでいたら、
寒い時は石を温めてタオルでくるん
で暖を取るとよいと書いてあったの
で毎年、これをやっている。ストー
ブの上に石を数個置き、寝る前に
これを厚手の袋に入れ、寝床に入
れておく。寝る頃には布団の中が
ちょうどよい温度になり、快適な
眠りを誘う。まさに至福の時であ
る。石はゆっくり冷えるので、睡
眠の導入にはもってこいである。

ここまで読むと全編これ、住宅
雑誌に載っているような優雅さだ
が、エコ生活は通販生活と違って

根性が要る。優雅さは期待しない
ほうが良い。まず、一冬の薪の
調達は自分の敷地内の木を5本、
切つて薪割をし、3年乾かす必要
があるしそのスペースも要る。忙し
い身なのでさすがに3年分の調達
は難しい。時々薪を買うが、時間
があればすべて自己調達したいと
ころだ。3年分あれば2年分は
CO2の固定化で地球温暖化の阻
止に貢献できる。薪ストーブでも
う一つ重要な事は煙突掃除であ
る。これは絶対欠かせない作業で
あり、排煙が不十分だと一酸化
炭素中毒の危険がある。別荘で
最初に薪ストーブを始めたときに
よく起こる事故である。幸い煙突
の一部が部屋を横切り、二階の寝
室に突き抜けているので、煙突の
一部を外して掃除が可能だ。お
まけに寝室も適度に暖かい。

薪ストーブを26年間やってきた
が、さすがに若い時のように斧を
ふるって薪をバリバリ割るというこ
とも難しくなった。主な原因は手
の変形性関節症で、要するに使い
過ぎと加齢による軟骨のすり減り
である。学生時代には軟骨は再生
しないと習ったのだが、すごく遅い
が再生しないことはないようだ。
ちなみに軟骨のターンオーバー(入
れ替わり)は127年とのことな
ので、道理で治らないはずだ。皮
膚は28日、赤血球は120日、骨
は7年に入れ替わるので、軟骨は
一生ものとして大事にしなければ

ならない。間違ってもうさぎ跳び
などはやってはならない。これは学
生時代によくやらされたが、どこ
を鍛えているのか目的のはつきりし
ないとレーニングだった。強いて言
えば根性を鍛えるとか、理不尽な
ことに耐えるなどの効果を期待し
ていたのかもしれないが、これで膝
を痛める若者も多かったろうから
罪深い話だ。自分の遺伝子検査を
してみたがやはり軟骨の再生は弱
いと出た。結果論ではあるが。

隣地の1反半(約450坪)は
父が何かの理由で買わされた土地
らしく、農地なので税は安いが使
い前がない。ここに3年がかりで一
人で芝を張った。耕して均して肥
料をやり、それから大量に買つて
きた芝を張るのである。夜、遅く
病院から帰って、作業用のライト
をつけて、耕して張る。近くの人
は医者だと思わなかったろう。こ
こまでくると園芸を通り越して農
林業に近い。引退したら晴耕雨読
ならぬ晴耕雨医を目指している
が、実現に至っていない。

芝生の管理もまた大変で、週1
回の芝刈りをしなければ美しくな
いし、少し放置すると雑草だらけ
になる。特に芝の伸びが速い夏の
炎天下での芝刈りは、汗だくな
りながら熱中症を心配しながら1
時間半ほどかかる作業でほとんど
修行に近い。しかし刈った後の芝
面が斜めの光を受けて輝く一瞬は
疲れを忘れさせる。薪の準備を始

める10月まで芝生の作業を、それ
から春先までは薪ストーブの作業
と園芸は年中忙しい。

時々野菜作りに挑戦してみ
るが、野菜はこまめにお世話をしな
いと良くできない。たまに豊作にな
るが、そんなときは近くのスーパー
でも山のように入ったニンジンが一
袋100円で売られたりしていて、
自分の労働の対価を考えるとがっ
かり来るのである。とはいえ、新
鮮な野菜が朝取りで食べられて幸
せなんだ、幸せのはずだと無理矢
理、合理化して自己納得させ、それ
以上考えないようにする努力も必
要だ。

現代生活は自然から離れつつあ
る。都会でマンションにすむと今日、
雨だろうが、晴れだろうが、強風
だろうが、日経平均ほどには自分
自身の直接的関心事ではない。ポ
リ袋が海に流れて海洋生物の害に
なることもメディアで知ることがで
きるが、プラスチックを減らそうと
言う努力はしない。子供たちもカ
ブトムシとその餌もデパートで買
い、死んだら捨てるという消費物
だ。でも本当にカブトムシを理解
するためには卵から育て、腐葉土
をやらないと難しい。

世界は実体験からしか深い理解
には至らない。医療制度も医療も
その現場に長くいてかつその周辺の
勉強もしなければ本質的な理解に
は遠い。また、堅い話になってすみ
ません。

「KDDIからの重要なお知らせ」が、郵送されてきた。この手の「重要」の意味は、会社にとって重要であることは分かっている内容を読んだ。2022年3月末で現在わたしの持っている携帯電話向けサービスを終了するから、auスマートフォンおよびauケータイへの機種変更のご案内である。しかも、10,800円の割引クーポンの期限は、今年の5月31日というニクサで早くしろということだ。

わたしは、遅い商魂というより、小賢しい商売気を感じた。むしろ、わたしも現在の仕事をしているから、商品の拡張、専有強化としての競争がもたらしたものと、理解はする。しかも、新聞報道によると80歳を超えると携帯電話の解約が増えてくるそう。だから、年寄りにならない中に、今年5月31日に割引クーポンの期限を設けたのだらうと、憐れんでいる。

商魂がありますか？



なんでこんなことを書いたかという、病院、施設にもKDDIのような「商魂」があり、それを行動に移しているか、ということだ。例えば、現在60歳から70歳の人間に、老後の施設としてパソコン導入した介護器具などを常備して、ますという、パブリシティだ。音楽療法も、ビートルズはもはや古典になっているから、その年代にマッチした音楽療法を模索中とか、あるいはウチはリウサギ老いしりなんてCDは入れてませんとか、やはり年代に応じたパブリシティを展開すべきだろう。なにしろ、その時代をピークに老人は急速に減少するのだから、顧客確保として重要だと思ふ。

いまひとつ、再春館製薬さんの「商魂」には、恐れ入った。新聞一頁大で、年寄りに生じる日常動作の不安を14項目、挙げておられた。わたしは14項目の12項目が該当する。例えば「下り階段が怖い」とか「靴下を履くときよろける」といった老人のADLの低下項目である。

その上で、それは筋肉の衰えだから、高麗人参に筋肉増強剤を加えた栄養剤を飲めば、ADLが回復するように錯覚（個人

的感想）を生じさせる広告だ。毎日新聞で見たのだが、朝刊の社会面の前一頁という、相当な広告料だろう。もちろん、元が取れるから出しておられるのであつて、商魂溢れた広告（パブリシティとはちがう）だと、感心して見ていた。

これも、医療、介護業界にとつて参考になると思う。新聞一頁の広告は出せないにしても、例えば市民講座を開催して、現在のお年寄りの求めている「死に方」のバリエーションについて話されてもいいだろう。これは、本紙4頁に広告しているが、わたしがひしひしと感じる、わが国の元氣な高齢者のニーズである。前述の年寄りのADLと同じように、お年寄りはどう死のうか、どんな死に方はしたくないかを、かなりの老人が持つておられる。と書いて、前述のKDDIの話だ。会社の相談窓口電話で「89歳（2022年）までケータイが使えるかどうか自信がないので……」と話したら、若い女性は「意味わからん」反応だった。だから、先のKDDIの商魂は老人には不向きかもしれない。再春館さんは、完勝であろう。

ちなみに、再春館さんは病院も経営しているが、わたしは創業者である女性の感覚が優れているから、現在のように急成長していると思つている。女傑のオーラのある方で、社長ではない。

岡田

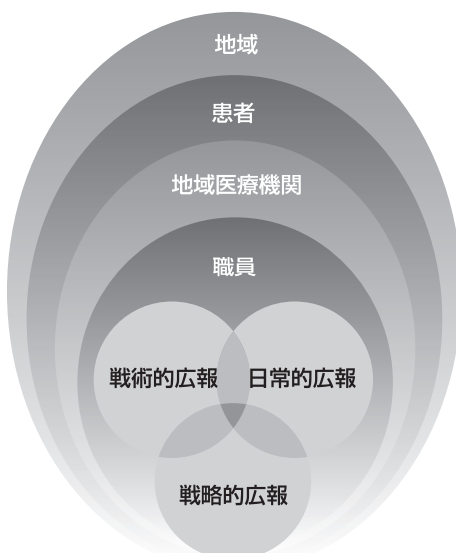
広報的視点から、病院のビジネス構造の变革をサポートします。

病院経営の再構築の時代を迎えた今、
私たちHIPは、貴院の将来ビジョン、
そのための経営戦略・戦術における課題を見出し、
そのためのソリューションとして、広報活動を組み立てます。
アプローチの視点は三つ。
戦略的広報、戦術的広報、日常的広報。
いずれにおいても、
病院経営者、そして現場の職員の方々と一緒に考え、
貴院がめざす医療、病院の実現に向けて、
あらゆる広報表現物をご提供します。



有限会社エイチ・アイ・ピー
〒466-0059 名古屋市昭和区福江2丁目9番33号
名古屋ビジネスインキュベータ白金406
合同会社プロジェクトリンク事務局内
TEL052-884-7832 FAX052-884-7833

貴院の広報をあなたといっしょに考えます。そして答えを出します。私たちはエイチ・アイ・ピーです。



広報、情報の視点から病院経営を考えます。

広報で変わる 医療環境

DOCUMENTARY FILE

第446回 これからの福祉と医療を実践する会

認知症対策の、地域ごとの格差が広がっている。医療的対策にとどまらず、地域全体の取り組みが地方自治体やコミュニティ主体で行なわれつつあり、医療機関には見えにくく、重要な点である。

第一には先進的な町田市取り組み。特長は、認知症当事者の声を活かされ、企業や多数の関係組織が連携することである。それは「町田アイ・ステートメント（私は、仕事や地域の活動を通じてやりたい事にチャレンジし、地域や社会に貢献している、など16の目標）」や「認知症ケアパス（知って安心、認知症）にまとめられ、具体的には認知症の方や市民の誰もが参加できる「認知症カフェ（スターバックス店舗、住民宅や関連機関でも開催）」や地域で働く実感を持つ「DAYS BLG」での仕事、図書館の「認知症コーナー」での啓蒙活動、認知症サポート・養成講座、個別支援から地域での活動・連携につながる認知症にやさしい地域づくり等がある。

第二に病院のオレンジカフェ。自治体との連携を充実させ、開始から1年で30人を超える利用者を迎えるカフェの工夫と課題を報告する。第三には病院が認知症対策を進めるための施設基準と整備の具体化策をまとめ方向性を考える。

今回、整えられた提言は出てこ

ないかもしれないが、事例から地方自治体やコミュニティの実態を踏まえた多くの課題を学び、意見交換で自院の果たすべき役割と方向性を探索したい。（鈴木喜三）

六月二十一日（金）

午後二時～四時半

認知症対策の激変と医療機関のあるべき対応……地域の実態を踏まえた自院の明確な役割実現を町田市南第3高齢者支援センター相談員・看護師 角川 隆之氏
医療法人社団田島厚生会神谷病院
オレンジカフェ担当 中野 恵氏
医療法人社団健裕会中谷病院
理事・事務局長 播間 利光氏
会場 戸山サンライズ中会議室
参加費 会員 八〇〇〇円
会員外 一五〇〇〇円
申込先 Tel. 03-5834-1461
Fax. 03-5834-1462



新宿区戸山1-22-1
地下鉄東西線早稲田下車徒歩10分
大江戸線若松河田駅下車徒歩8分

書き終えて

▼今日4月10日は、関東地方はやたらと寒い。明日は今年2回目のゴルフ。年間80回もやっていたのに、減ったものだ。年齢があるね。

▼足腰も弱ってきたことは、実感だ。弱った足腰のまま歩くと、さらに弱る。むろん、それに抵抗して歩き方改革と働き方改革をしている。無駄な抵抗ではなく、ここでもアウトカムを求める。どこから、ムリしなさんなの声が聞こえる。

▼1頁に書いたが、本当は頁別に全員に書きたい思いは、一日一日と時間が経過していくなかで、社会はかなりのスピードで変化していることだ。宇宙探査なんかしている時間はないのである。あれば生命の起源を探るオタクだ。いつも、その新聞記事を見るたびに、生命の起源が分かっとうしろというんだと思う。税金で負担するものか？

▼その関連では、日産の事件？は裸の王様の現代版だと思っている。支配＝服従の関係では、やはり支配が強い。裕福な病院理事長はそうはいないと思うが、危険はある。

▼6月はアメリカ。救急隊員（パラメディックス）の待機所からホーム・ヘルスケアの会社まで、あらゆるケアのステージを視て、学習だ。冒頭に弱気に映る本気を書いたが、まだまだくたばらばらないでなく、くたばるときはくたばるだけ。それまでは、気合で生きていく。

医療と介護をデザインする企業 株式会社 星医療酸器

パレットで解決！



全世界測位システム

GPSで現在地を特定しコールセンターに自動転送され、迅速に対応



Bluetoothリモコン

2階から1階、別の部屋からでも、リモコン操作が可能です。



どうしたのかな???

機器に何かの不具合が発生すると手元の画面で対処方法が確認できます



いろいろ知りたい!

ボンベの使い方等の必要な情報は、動画でいつでも見る事が出来ます。

在宅酸素療法



酸素濃縮装置



酸素濃縮器リモコン
災害時救済ボタン付

※写真は2L器

2L 3L 5L

携帯用ボンベ



生活に合わせて色々な使い方が可能です。3色からお選びいただけます